平成18年11月８日

各　位

会　社　名　ＶＴホールディングス株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　高 橋 一 穂
（コード番号　７５９３　名証第２部、大証 HC）
開示責任者　常務取締役　伊 藤 誠 英
問合わせ先　取締役管理部長　堀　直 樹
（ＴＥＬ　０５２－２０３－９５００）

１９年３月期　業績及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成１８年７月１１日付で発表しました業績予想、並びに平成１８年５月１５日付で発表しました配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

１．連結業績予想の修正

（１）19 年 3 月期連結中間業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

区　分	売 上 高	経常利益	中間純利益
前回発表（A）	４５，５００	９００	１８０
今回修正（B）	４１，９００	８００	△２，７６０
増減額（B-A）	△３，６００	△１００	△２，９４０
増減率（%）	△７．９	△１１．１	－
前中間期実績	１８，８９８	７１３	△１，２０３

（金額の単位：百万円）

（２）19 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

区　分	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表（A）	１０６，０００	２，６７０	１，２００
今回修正（B）	１０３，０００	２，８００	△１，４４０
増減額（B-A）	△３，０００	１３０	△２，６４０
増減率（%）	△２．８	４．９	－
前期実績	４８，５２４	１，８３７	６１７

（金額の単位：百万円）

（３）修正の理由

当社の子会社でありますアイコーエポック㈱の省電力装置の製造販売事業が当初計画を下回ったこと、債権の回収可能性を見直したこと等により、当中間期におきましてアイコーエポック㈱の保有する全固定資産の減損損失、貸倒引当金繰入等の特別損失が発生し、当中間並びに通期業績予想を修正いたします。

当社グループでは通期最終損益の黒字化を目指し、含み益のある資産売却等を中心とした利益対策を進めておりますが、現段階において実現可能性が高いと判断したもののみを上記の通期業績予想数値に織り込んでおります。

２．個別業績予想の修正

（１）19 年 3 月期中間業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

区　分	売 上 高	経常利益	中間純利益
前回発表（A）	８１５	５４５	４９５
今回修正（B）	８０９	５００	△３，３００
増減額（B-A）	△６	△４５	△３，７９５
増減率（%）	△０．７	△８．３	－
前中間期実績	４６９	２９６	△３８２

（金額の単位：百万円）

（２）19 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

区　分	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表（A）	１，０９９	５３９	４８３
今回修正（B）	１，９８０	１，３８０	△１，８６０
増減額（B-A）	８８１	８４１	△２，３４３
増減率（%）	８０．２	１５６．０	－
前期実績	７４６	２８９	△３３１

（金額の単位：百万円）

（３）修正の理由

アイコーエポック㈱をはじめ当中間期に当期純損失が発生した子会社株式の評価、並びに子会社に対する貸付金の回収可能性を見直した結果、子会社株式評価損、貸倒引当金繰入等の特別損失が発生したため、当中間並びに通期業績予想を修正いたします。

当社では通期最終損益の黒字化を目指し、含み益のある資産売却等を中心とした利益対策を進めておりますが、現段階において実現可能性が高いと判断したもののみを上記の通期業績予想数値に織り込んでおります。

３．配当予想の修正

上記の業績予想数値の修正により、連結・個別業績共に大幅な当期純損失が避けられない見通しとなっております。

株主の皆様には大変なご迷惑をお掛けしますが、誠に遺憾ながら当期の配当予想を下記のとおり修正いたします。

	中 間 期	期　末	年　間
前回予想（平成 18 年 5 月 15 日）	1.2 円	1.2 円	2.4 円
今　回　の　修　正　予　想	－円	－円	－円
(ご参考)前期の 1 株当たりの配当金実績	2.0 円	2.4 円	4.4 円

（注）本資料による業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。実際の業績は様々な要因により、これらの予想数値と大きく異なる場合があります。

以　上